

バングラデシュ

〔基礎データ〕

バングラデシュはインド洋に面したガンジス川河口に位置し、人口は約 1.5 億人、高い人口密度をもつ国です。



バングラデシュでは、少しずつ経済・保健・教育等の状況が改善されてきているものの、いまだに人口の 50%が貧困ライン以下、84%は 1 日 2 ドル以下の生活にあり、貧困が大きな課題となっています。また洪水・サイクロンなどの自然災害が頻繁に発生する地域でもあります。

新生児・妊産婦死亡率の高さや、5 歳以下の子どもの 46%が栄養不足の状態にあること、また改善された衛生施設（トイレ）を使用できるのは人口の 36%にとどまるなど、貧困と関連した保健衛生の問題が多くあります。

バングラデシュ赤新月社では、青少年赤新月・ユースボランティアの育成を通じて、青少年に対する健康安全や赤十字・赤新月の人道的価値観の知識の普及し、その青少年自身が保健衛生の知識を広めるピアエデュケーション活動を実施したり、災害時に救護活動に参加したりできるようサポートしています。

参考資料：UNICEF Bangladesh (<http://www.unicef.org/bangladesh/>)

〔衛生・教育環境の改善〕

学校の中の、衛生設備の改善や保健室の設置、またメンバーに対する救急法講習や清掃活動のサポートを行います。また、特に脆弱な立場におかれた子どもたちが必要としている文具を贈っています。



学校のトイレに設置された、「衛生に関する注意」



文具セットを受けとる子どもたち

〔青少年赤十字活動の支援〕

生徒の活動をサポートできるように、指導者やサポートの“コア・ボランティア”に対する研修会を開いています。各校では、生徒たち自身が、自分が学んだ救急法や衛生、赤十字・赤新月についての知識を、他の生徒に伝えています。



メンバーであることを
とても誇りに思います！

〔国際理解・親善〕

日本とバングラデシュの間でトピックアルバム（絵やメッセージを書いたアルバム）を交換したり、訪問したりして交流を深めています。また、バングラデシュ国内でメンバーが相互訪問を行い、互いに学ぶ機会を作っています。



自分で描いた絵を日本のメンバーに贈る

〔2010年の活動報告〕

- ▽2010年は、活動強化対象支部として選定された5つの支部（Magura, Borguna, Jaypurhat, Khulna, Gopalganj）、各支部10校を対象として、以下の活動が実施された。
- …各校10名の生徒に対して3日間の赤十字・赤新月の基礎知識と救急法講習
 - …生徒総会で一般の生徒およそ500人に対し赤十字・赤新月運動についての3時間のオリエンテーション
 - …年4回の学校クリーン活動
 - …衛生環境の改善、浄水器の提供
 - …救急箱2箱、救急手当のための器材の配備
 - …各支部30名のコア・ボランティアと20名の指導者に対し、赤十字・赤新月運動についての研修
 - …各支部30名のコア・ボランティアに対して青少年赤十字教育等支援事業（国際友情プロジェクト）についての2日間オリエンテーションとワークショップ
 - …各支部において学校のリーダーたちとの会議の実施、今月の活動予定の振り返り、評価、翌月の活動予定などの協議
 - …2ヶ月ごとの学校のリーダーたちとコア・ボランティア、担当教諭の会議の実施、各自の経験と知識の共有、次の活動に向けての方向性などの協議
 - …バングラデシュ赤新月社による事業のモニタリング

▽Magura支部の10校の生徒に対して文具1,000セットが配付された。



文具セット

▽本事業を通じて、各支部の赤新月ボランティアがさまざまな青少年プログラムを実施する中心的なグループを担うようになっていきます。